



# 臨床研究部便り 第8号

臨床研究部長 下田 照文

平成16年度鶴谷賞・廣瀬賞選考発表会は、10月19日(火)午後4時より研修情報センターにて開催されました。演題数は、看護部4題、放射線科2題、栄養管理室1題、臨床検査科1題、呼吸リハビリ棟1題であり、各部門より全部で9題の演題が発表されました。例年と違って、今回、放射線科より2題発表されましたが、その積極性は高く評価されてよいことだと思います。発表時間7分という限られた時間のなかで、内容をよくまとめてわかりやすく要領よく発表されていました。発表会後の感想では、今年の発表は昨年度に比し内容の質が高かったとの意見が多く聞かれました。幹部6名による選考の結果、下記のように鶴谷賞、廣瀬賞、特別賞が決定しました。惜しくも選にもれた方には参加賞を与えることにしました。授賞式は平成16年10月30日(土)の南福会において行われ、廣瀬賞の春田 典子さんには受賞記念講演をしていただきました。来年度も各部門より多数の演題のご応募と、選考会への皆様のご出席をお願い申し上げます。

また、研究業績の評価として、臨床研究部に提出された論文(平成15年4月～平成16年3月掲載)の中から、最優秀論文賞と優秀論文賞が下記のように決定しました。医師ならびにコメディカルの皆様は、学会や研究会で発表した内容を論文として執筆されますよう期待しております。

平成16年度鶴谷賞・廣瀬賞受賞者

## 鶴谷賞(第7回):

足立 仁志(呼吸リハビリ棟)

「小児喘息に合併した無気肺に対する肺理学療法の検討」

## 廣瀬賞(第6回):

春田 典子(栄養管理室)

「癌治療前患者における栄養状態」

## 特別賞:

大里 美知代(10病棟)

「重症心身障害者の口腔ケアに歯式と歯間ブラシの併用を取り入れた効果」

平成16年度臨床研究部論文賞

## 最優秀論文賞:

野上 裕子(内科)

Hiroko Nogami, Shunsuke Shoji, and Sankei Nishima : Exhaled nitric oxide as a single assessment of airway hyperresponsiveness in bronchial asthma and chronic cough patients. Journal of Asthma 2003; 40: 653-659.

## 優秀論文賞:

中野 博 (呼吸器科医長)

Nakano H, Hayashi M, Ohshima E, Onizuka A: Relationship between sleep-disordered breathing and hypertension. *Sleep and Biological Rhythms* 2003;1:115-116.